

## 請求の範囲

- [請求項1] ビニルアルコールからなるユニットと、酢酸ビニルからなるユニットとを有するビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体であって、下記式（１）を用いて得られる三連子ユニット連鎖率 $T_{OO}$ が7.5以下であることを特徴とするビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体。

[数1]

$$T_{OO} = \frac{[\text{Vac 含有量}] \times [\text{OOO 含有比}] \times 2}{[\text{VOH 含有量}] \times [\text{AOO 含有比}]} \quad (1)$$

式（１）中、VOH含有量はビニルアルコールからなるユニットの含有量、Vac含有量は酢酸ビニルからなるユニットの含有量、OOO含有比はOOO三連鎖の含有比、AOO含有比はAOO三連鎖の含有比を示す。

- [請求項2] ビニルアルコールからなるユニットの平均連鎖長 $L_O$ が1以上であることを特徴とする請求項1記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体。

- [請求項3] 酢酸ビニルからなるユニットの平均連鎖長 $L_A$ が1以上であることを特徴とする請求項1又は2記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体。

- [請求項4] ビニルアルコールからなるユニットの含有量が0.2～99.8モル％であることを特徴とする請求項1、2又は3記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体。

- [請求項5] 下記式（２）を用いて得られる三連子ユニット連鎖率 $T_{AO}$ が0.5以下であることを特徴とする請求項1、2、3又は4記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体。

[数2]

$$T_{AO} = \frac{[\text{Vac 含有量}] \times [\text{AOO 含有比}]}{[\text{VOH 含有量}] \times [\text{AOA 含有比}] \times 2} \quad (2)$$

式（２）中、VOH含有量はビニルアルコールからなるユニットの含

有量、V a c 含有量は酢酸ビニルからなるユニットの含有量、A O O 含有比はA O O三連鎖の含有比、A O A 含有比はA O A三連鎖の含有比を示す。

- [請求項6] 請求項1、2、3、4又は5記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体を製造する方法であって、  
下記式(6)に示すジアニオン型亜鉛アート錯体を用いて、ポリ酢酸ビニル又は原料ビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体をエステル交換反応する工程を有することを特徴とするビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体の製造方法。

[化1]



式(6)中、nは1～4の整数、mは1又は2であり、Rはnが1又は2のときはそれぞれ同一でも異なっていてもよく、炭素数1～8のアルキル基、アルケニル基、アリール基又はアリールアルキル基であり、Mはリチウム又はマグネシウムである。

- [請求項7] ジアニオン型亜鉛アート錯体が、テトラ t ーブチル亜鉛酸ジリチウムであることを特徴とする請求項6記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体の製造方法。
- [請求項8] エステル交換反応する工程を均一系で行うことを特徴とする請求項6又は7記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体の製造方法。
- [請求項9] エステル交換反応する工程を不均一系で行うことを特徴とする請求項6又は7記載のビニルアルコールー酢酸ビニル共重合体の製造方法。